

50th Anniversary



会 報 [第129号]

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

設立 50 周年記念特集

contents



設立 50 周年を迎えて

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会 会長 有井 清	3
---------------------------	---



祝 辞

内閣官房長官 菅 義偉	5
神奈川県知事 黒岩 祐治	6
横浜市 市長 林 文子	7
相模原市 市長 加山 俊夫	8
一般社団法人日本空調衛生工事業協会 会長 長谷川 勉	9
当 会 顧 問 神奈川県議会議員 桐生 秀昭	10
当 会 顧 問 横浜市 会 議 員 佐藤 祐文	11



50 年の歩み

・ 浴 革	12
・ 歴代会長一覧	15



設立 50 周年記念祝賀会

.....	16
-------	----



設立 50 周年記念講演会

.....	19
-------	----



環境ポスター表彰式

.....	23
-------	----

入賞・入選作品紹介	25
-----------	----

会報第 129 号

contents

(一社)日本空調衛生工事業協会第24回全国会議を島根県で開催	36
定例理事会議事報告(平成29年7月・9月・10月・11月)	37
関東地方整備局による「平成29年度入札契約制度説明会」開催	38
平成29年度技術研修見学会	技術委員会 39
横浜市建築局主催による震災時即時出動訓練行われる	安全委員会 41
神奈川県県土整備局による震災対策訓練行われる	安全委員会 42
神奈川県高等学校教科研究会建設工芸専門部との懇談会開催	42
技術系若手教員対象の現場研修見学会の実施	43
横浜市優良工事表彰式	44
中区制90周年・開港記念会館100周年記念事業実行委員会から当工業会への感謝状の贈呈	44
親睦会報告	45
会員消息	47
編集後記	47

設立50周年記念特集



設立 50 周年を迎えて

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会

会長 有 井 清

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会は、空調設備・給排水衛生設備工事の業界団体として昭和 42 年の設立以来、設備工事業界の発展および会員各社の経営の強化・技術の向上・適正な品質の確保等に努めながら、着実に発展を重ね、本年、設立 50 周年を迎えることができました。

これもひとえに関係団体をはじめ、たくさんの皆様のご指導ご鞭撻の賜物と衷心より感謝申し上げます。

さて、現在、我が国を取り巻く環境としましては、株価の回復、GDP の増加、有効求人倍率の上昇及び失業率の低下など、力強い経済を取り戻しつつある一方、少子化・高齢化に伴う諸課題のほか、基礎的財政収支の不均衡、憲法改正、北朝鮮問題、中国・韓国との外交問題、多発大型化する自然災害など、様々な問題・課題がございます。

また、世界的には地球温暖化の進行と異常気象、汚染物質による自然破壊などの環境問題に直面しており、2016 年 11 月に発効された「パリ協定」に代表されるように、世界的に持続可能な対策を講じていくことが不可避となっております。

ところで、この 10 年間を振り返ってみますと、日本社会の大きな変革を感じずにはいられません。

平成 23 年には未曾有の大災害である東日本大震災が発生し、世界中に衝撃を与えました。震災が与えた影響は大きく、家族あるいは地域社会の絆や安心・安全が再び見直される契機となりました。

経済面では平成 20 年のリーマンショックによる世界同時不況、ギリシャの債務不履行に端を発する平成 22 年の欧州債務危機など揺れ動く世界経済の影響を受け、また、国内においては平成 21 年に政権交代がなされた後、円高・株安が急速に進むなど我が国経済も混迷しました。

建設業界を見ますと、公共工事の予算は大幅に削減され、更には行き過ぎた低価格受注競争によって採算が悪化するなど、建設業全体が厳しい経営環境におかれ、経営破綻に追い込まれた企業もありました。

一方で、東日本大震災の復興事業や2020年東京オリンピック・パラリンピックの関連施設整備に伴う建設ラッシュにより、技術者・技能労働者不足や資材価格高騰が顕著となり、これに伴う工事遅延、入札不調・不落なども発生しています。

また、国を中心とする発注機関が総合評価方式を拡充したことにより、「技術と経営に優れた企業」が求められるようになりました。同時に、品確法・入契法・建設業法のいわゆる担い手三法が一体改正され、インフラの品質確保、担い手の中長期的育成が図られることとなり、今後、建設業界の発展に寄与するものと期待されています。

こうした中、現在、建設業においては「働き方改革」が大きな課題となっております。本年3月に政府において「働き方改革実行計画」が策定され、罰則付き時間外労働の上限規制にあたり、建設業においても5年間の猶予期間の後に規制が適用されることとなりました。

現在、建設業界は、若年入職者の減少と早期離職者の増加という問題が深刻化しており、今後、若年入職者を安定的に確保していくためには、時間外労働の縮減と共に週休二日制の実現等により長時間労働を解消し、労働環境の整備を進めていかなければなりません。実現にあたっては生産性の向上をはじめとする自助努力に加え、適正な工期の設定や、それによって必要となる費用の請負代金への反映など、発注者の理解と協力が不可欠であり、当工業会としても国をはじめ、関係行政機関に対して要望を行っております。

この様に社会・業界環境が大きく変わる中、地球環境保全に向けては、低炭素社会づくりを目指して平成21年に当工業会が掲げた環境スローガン「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」を着実に遂行していくため、私たちは業界団体としてできることからひとつずつ実践すると共に、関係行政機関が取り組む防災活動・減災対策の推進に積極的・継続的に協力し、皆様から信頼され社会に貢献する企業集団として、また、地域に求められる業界団体としての努力を続けて参る所存でございます。

関係各位におかれましては、今後とも、当工業会の運営に一層のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



内閣官房長官 菅 義 偉

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会設立五十周年を心からお祝い申し上げます。

貴会は昭和四十二年の創立以来、神奈川・横浜の快適な暮らし実現のために、空調衛生設備工事の専門企業が集結し、よりよい技術の向上と安全安心の徹底に、責任と誇りをもって取り組んでこられました。そうした業界の健全な発展へのご尽力こそが、今日までの日本の経済成長を大きく支えてこられました。歴代会長、役員の皆様はじめ会員企業の皆様のこれまでのご功績に心より敬意と感謝を表します。

お陰さまで安倍政権は約四年十か月を迎え、一つひとつ結果を出すことにこだわってきました。GDP、株価、雇用、有効求人倍率、女性の活躍、訪日外国人観光客数など、それらから見ても確実に経済の好循環が見え始めています。安倍政権は、引き続き、国民の皆様の声を謙虚に受け止めながら、日本経済再生を最優先に、「地方創生」「働き方改革」「観光立国」など、まさに日本の構造的課題に挑み、未来を見据えた政策を進めていく決意であります。

そのような中、神奈川・横浜においては二〇一九年ラグビーワールドカップ開催、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック開催、首都高北線、北西線の開通、上瀬谷米軍施設跡地の再開発、山下埠頭の再開発など、神奈川・横浜の魅力がますます溢れる事業が目白押しです。神奈川、横浜の街づくりを熟知している皆様が、その強みを存分に発揮され、この盛り上がりをしっかりと捉えて、更なる発展をされますことを期待いたします。

五十周年を契機に会員皆様が一致結束し、これからの空調衛生工事の未来に向かって切磋琢磨され、神奈川県空調衛生工業会がますますご発展されますことを祈念いたしまして、お祝いのご挨拶といたします。



設立 50 周年に寄せて

神奈川県知事 黒 岩 祐 治

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会が、設立 50 周年という大きな節目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴工業会は、昭和 42 年の設立以来、設備工事の技術向上や経営の合理化、災害時における地域との協力体制の構築などに積極的に取り組まれ、本県の安全で快適な環境づくりに多大な貢献をしてこられました。これもひとえに、歴代の会長をはじめとする役員の方々、そして会員の皆様の長年にわたるご尽力の賜物と、深く敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

さて、本県では、超高齢社会への備えや東日本大震災の教訓を生かした防災対策の強化など様々な課題に対し、平成 24 年 3 月に県政運営の総合的・基本的指針となる総合計画「かながわグランドデザイン」の基本構想を策定し、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて様々な施策を展開しているところです。

こうした施策を着実に推進していくためには、日ごろから設備工事を通じて、生活環境の向上や地球環境の保全に取り組まれ、確かな技術力と安定した経営力で本県経済を支えてこられた、皆様方のご理解とご協力が不可欠です。「誰もが快適に安心して暮らすことができる」、「いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川」づくりに向けて、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人神奈川県空調衛生工業会のますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



横浜市長 林 文 子

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会が設立 50 周年の節目を迎えられましたこと、誠に
おめでとうございます。昭和 42 年の設立以来、実に半世紀の長きにわたり、空調衛生設備
の設置・管理等を通じて市民生活と地域経済を支えられるとともに、人材育成や技術伝承な
ど業界の発展に力を尽くされ、ひいては社会の発展に大きく寄与してこられました。改めて
心より敬意を表します。

また皆様には、「公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」のもと、本市
の災害時の対応に多大な御協力をいただいております。平成 23 年に発生した東日本大震災
の際には、迅速に現地での公共建築物の応急措置対応をいただき、誠にありがとうございました。

近年は、社会経済状況の変化に伴い、市民共有の財産である公共建築物の老朽化対策が深
刻化するとともに、施設の省エネルギー化や再生エネルギーの活用などの温暖化対策が、時
代の要請となっています。今後も市民生活を安全かつ快適なものとしていくためには、貴工
業会がこれまで培ってこられた経験や知見が必要不可欠でございます。

また今後、ラグビーワールドカップ 2019™ や、翌年の東京 2020 オリンピック・パラリ
ンピックの開催、新市庁舎の完成など、横浜のまちづくりが一層進み、その魅力に触れてい
ただく機会が続きます。引き続き、貴工業会の皆様と手を携え、横浜の街を一層発展させて
まいりたいと願っております。変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

むすびに、このたびの設立 50 周年を契機に、一般社団法人神奈川県空調衛生工業会がま
すます発展されますことと、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのことばとさ
せていただきます。



神奈川県空調衛生工業会 設立50周年を祝して

相模原市長 加 山 俊 夫

神奈川県空調衛生工業会が設立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴会は、設立以来、技術の改善や品質の確保等に尽力され、空調・衛生工事業の発展と、市民の住環境の向上に大きく貢献してこられました。歴代会長をはじめ、会員皆様の長年にわたる熱意と御努力に深く敬意を表しますとともに感謝いたします。

本市は現在、リニア中央新幹線の駅が設置される橋本駅周辺と、米軍基地の一部返還地等の早期利用や小田急多摩線の延伸に取り組む相模原駅周辺とを一体とした広域交流拠点の形成、圏央道のインターチェンジ周辺における新たな産業拠点の整備など、本市が将来にわたり活力と魅力にあふれ、市民の皆様が安全で安心して心豊かに暮らせる「人や企業に選ばれる都市づくり」を積極的に推進しております。

皆様方におかれましては、本市の未来に向けたまちづくりにあたり、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、設立50周年を迎えられました貴会のさらなる御発展と、会員並びに関係者皆様方の御健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



設立 50 周年を迎えて

一般社団法人日本空調衛生工事業協会

会長 長谷川 勉

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会が設立 50 周年を迎えられるに当たりまして、一言お祝いを申し上げます。

貴工業会は、昭和 42 年に社団法人として設立されて以来、その目的とする建築設備工事に関する調査研究及び指導を通じ、技術の向上及び経営の合理化を図るとともに、設備工事の適正な施工の確保等に努められ、着実に発展を続けてこられました。

貴工業会の発足は、まさに我が国経済が高度成長期に移行する時期でありましたが、それ以来、我々建築設備業界も日本の急激な成長とともに発展し、国民が求める豊かな生活環境や産業活動の基盤整備の実現に向けて、より高度な専門性の要求に応えてきました。

近年、地球温暖化対策や防災・減災を始めとする様々な社会的要請に対して、建築設備業界に期待される役割は益々大きくなってきていますが、貴工業会の 50 年に亘る貴重な蓄積が必ずや活かされ、業界の更なる発展に資することを期待しております。

また、現在、急激な人口減少、少子高齢化の進展の中で、特に若年労働者を中心とした担い手の確保・育成の問題が、建築設備業界にとって大きな課題となっています。こうした中、貴工業会が、地元工業高校と連携して、建築設備関係の生徒を対象としたインターンシップを実施し、会員企業が多くの実習生を受け入れるなど、人材確保・育成に先頭に立って取り組まれていることに対して敬意を表したいと思います。

私ども日本空調衛生工事業協会と致しましても、建築設備の重要性を世にアピールし、自信と責任を持って良質な設備を提供するよう努めるとともに、企業活動に当たっては、コンプライアンスを徹底し、設備関係企業や技術者の社会的地位の向上を図って参りたいと考えています。

貴工業会がこの 50 年の歴史を次の時代への大きな飛躍台とされ、今後とも益々ご発展を続けられますことをお祈り致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



「時は偉大な医者である」、祝 50 周年

神奈川県議会議員

顧問 桐 生 秀 昭

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会が「設立 50 周年」を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

昭和 42 年に「神奈川管友会」を解散して現在の母体となる「神奈川県管工事工業会」を設立し、昭和 54 年に名称を「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」に変更され、平成 25 年に社団法人から一般社団法人に変更し現在に至っているという事であります。

この 50 年の中で工業会会員の皆様方におかれましては、様々な経済状況を乗り切り、厳しい経営環境下においても、この間、横浜市、神奈川県とも合同パトロールを実施したり、平成 9 年には横浜市と「震災時応急措置協力協定」を締結し、市民の「安全・安心」の為に直ちに対応できる体制をつくり、また、平成 19 年に神奈川県と「県公共物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」を締結され、県、市への協力をし、広く県民全体への社会貢献、福祉の向上に寄与する、定款に定める諸活動を推進・実施していることは大変心強い限りであります。

今後は建設業全体の課題でもあります、県民の「安全・安心」すなわち「いのち」を支える担い手を確保していくことが重要です。

今、実施されているインターンシップなどを活用しながら「若手技術者の確保・育成」が大切だと感じております。

私も顧問として協会のご要望をしっかり受けとめ、一步一步実現に向け努力していくつもりです。

結びに、「時は偉大な医者である」---- ディズレーリ。

貴協会の益々のご隆盛と、貴会員の皆様の発展とご健勝をご祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。

「設立 50 周年」、誠におめでとうございます。



横浜市議会議員

顧問 佐藤 祐文

神奈川県・横浜市をはじめ都市の発展とともに成長された神奈川県空調衛生工業会の設立50周年を心よりお祝い申し上げます。

人口急増の時代の大量生産から、長寿命化、そして環境に配慮したりニューアルへと時代の移り変わりにより、より高度な技術力が求められ、また技術者の確保育成などの課題にも積極的に取り組まれ優れた環境インフラ整備に努めてこられた工業会、景気動向や社会情勢などの時代背景により大変ご苦勞された時期もあったと推察致しますが工業会が一体となり歩んでこられ、今があることを考えますと工業会を支えてこられた歴代役員及び会員各位のご努力へ敬意を表する次第であります。

少子高齢化の進展、人口減少社会に突入した今、横浜市でも今後500校を超える学校、管理戸数38,000戸を超える公営住宅などの公共施設を適正に計画的に再整備しなければなりません。正に豊かな経験と確かな技術力を誇る工業会の皆様のお力が必要不可欠であると私は考えています。

50周年を契機として神奈川県空調衛生工業会の更なる飛躍をご祈念申し上げお祝いの言葉と致します。

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

50 年の歩み



沿革

1965 (創立)	昭和 40 年 2 月 25 日 任意団体「神奈川管友会」創立総会を県立勤労会館で開催 事務所を横浜市中区住吉町大清ビルに設置
1967 (設立)	昭和 42 年 9 月 26 日 「神奈川管友会」臨時総会を開催して同会を解散 「神奈川県管工事工業会」の設立総会を開催し、設立議案を可決 松本 静雄氏初代理事長に就任 昭和 42 年 12 月 26 日 神奈川県知事から「社団法人」の設立許可
68	昭和 43 年 4 月 28 日 「社団法人 日本管工事工業会（現 日本空調衛生工事業協会）」に加入
69	昭和 44 年 11 月 1 日 第 1 回「研修見学会」を実施（伊奈製陶・常滑工場）
70	昭和 45 年 10 月 28 日 事務所を横浜市中区南仲通り小島ビルに移転
73	昭和 48 年 5 月 19 日 川本 譲次氏第 2 代理事長に就任
75	昭和 50 年 7 月 20 日 「会報」第 1 号を発行
76	昭和 51 年 4 月 1 日 「横浜市・機械設備工事施工マニュアル」初版を発行 昭和 51 年 10 月 16 日 「会館」完成 事務所を中区本町 6 - 61 に移転



沿革

- 77 昭和 52 年 5 月 23 日
根本 豊氏第 3 代理事長に就任
- 79 昭和 54 年 5 月 28 日
名称を「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」に改称
根本 豊氏会長に就任
- 81 昭和 56 年 1 月 23 日
第 1 回「横浜市合同安全パトロール」を実施
昭和 56 年 9 月 28 日
第 1 回「経営幹部研修会」を開催
- 82 昭和 57 年 11 月 8 日
「設立 15 周年記念式典」をザ・ホテルヨコハマで開催
- 85 昭和 60 年 5 月 24 日
渡辺 隆司氏第 4 代会長に就任
- 87 昭和 62 年 11 月 16 日
第 1 回「職長教育講習会」を開催
- 89 平成元年 2 月 27 日
臨時総会をホテル・ニューグランドで開催し、「会費分担額案」を可決
- 92 平成 4 年 5 月 25 日
「設立 25 周年記念式典」をザ・ホテルヨコハマで開催
- 93 平成 5 年 5 月 28 日
大澤 洋氏第 5 代会長に就任
- 96 平成 8 年 11 月 27 日
「神奈川県都市部合同安全パトロール」を実施
- 97 平成 9 年 5 月 23 日
「設立 30 周年記念式典」を横浜ロイヤルパークホテルニッコーで開催
平成 9 年 11 月 10 日
横浜市と「震災時応急措置協力協定」締結（横浜市と 5 団体）
- 99 平成 11 年 5 月 21 日
大須賀 洋氏が第 6 代会長に就任
平成 11 年 11 月 19 日
「日空衛・平成 11 年度関東支部総会」を横浜ロイヤルパークホテルで開催
平成 11 年 12 月 20 日
新会館完成
事務所を横浜市中区海岸通 4 丁目 18 番地に移転
- 2000 平成 12 年 1 月 12 日
五十嵐 一喜氏が第 7 代会長に就任
平成 12 年 1 月 14 日
新会館落成披露宴をホテル・ニューグランドで開催（兼賀詞交換会）

- 04 平成 16 年 10 月 20 日
「日空衛・第 11 回全国会議」を横浜ロイヤルパークホテルで開催
- 05 平成 17 年 5 月 20 日
川本 守彦氏が第 8 代会長に就任
- 06 平成 18 年 4 月 1 日
新たに「賛助会員」が入会
平成 18 年 10 月 12 日
「日空衛・平成 18 年度関東支部総会」を横浜ロイヤルパークホテルで開催
- 07 平成 19 年 1 月 23 日
神奈川県と「地震時点検等協力協定」締結（神奈川県と 6 団体）
平成 19 年 5 月 18 日
「設立 40 周年記念式典」を横浜ロイヤルパークホテルで開催
平成 19 年 12 月 11 日
神奈川フィルハーモニー管弦楽団による「設立 40 周年記念コンサート」
を横浜みなとみらいホールで開催
- 09 平成 21 年 1 月 16 日
「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」をスローガンに環境保全活動を
推進することを宣言
- 13 平成 25 年 4 月 1 日
公益法人制度改革関連 3 法の施行にともない、「社団法人」から「一般社団
法人」に変更
- 14 平成 26 年 11 月 27 日
「日空衛・平成 26 年度関東支部連絡協議会」を崎陽軒本店で開催
- 17 平成 29 年 5 月 12 日
有井 清氏が第 9 代会長に就任
平成 29 年 5 月 12 日
「設立 50 周年記念式典」をロイヤルホールヨコハマで開催
平成 29 年 6 月 29 日
「設立 50 周年記念環境ポスター」募集
平成 29 年 9 月 9 日
アルピニスト野口 健氏による「設立 50 周年記念講演会」をはまぎんホール
で開催



歴代会長一覧

代 (役職名)	就 任 年 月 日	氏 名	備 考
初 代 (理事長)	昭和 42 (1967) 年 9 月 26 日	松本 静雄	※(社)神奈川県管工事工業会
第 2 代 (理事長)	昭和 48 (1973) 年 5 月 19 日	川本 譲次	
第 3 代 (理事長)	昭和 52 (1977) 年 5 月 23 日	根本 豊	
(会 長)	昭和 54 (1979) 年 5 月 28 日	//	※(社)神奈川県空調衛生工業会に 改称
第 4 代 (会 長)	昭和 60 (1985) 年 5 月 24 日	渡辺 隆司	
第 5 代 (会 長)	平成 5 (1993) 年 5 月 28 日	大澤 洋	
第 6 代 (会 長)	平成 11 (1999) 年 5 月 21 日	大須賀 洋	
第 7 代 (会 長)	平成 12 (2000) 年 1 月 12 日	五十嵐 一喜	
第 8 代 (会 長)	平成 17 (2005) 年 5 月 20 日	川本 守彦	
第 9 代 (会 長)	平成 29 (2017) 年 5 月 12 日	有井 清	

設立 50 周年記念 祝賀会開催



有 井 清 会 長

当会の設立50周年記念祝賀会が5月12日(金)午後5時から、ロイヤルホールヨコハマ「ベルサイユの間」で開催されました。

当祝賀会には、神奈川県の黒岩祐治知事、横浜市の林文子市長、(一社)日本空調衛生工事業協会の野村春紀会長、神奈川県議会の森正明議長、横浜市の梶村充議長をはじめ、地元選出国會議員、県議会議員・市議会議員、関係団体幹部等の100余名の来賓を迎えるなど、当会正会員、賛助会員と合わせて約300名が出席しました。

当日は、祝賀会の開会に先立ち、理事相談役に就任しました川本守彦前会長から「工業会は100周年に向けて新たな歩みを開始する。工業会の更なる発展に向けて、有井清新会長を叱咤激励し、力強く支えていってほしい。」とのあいさつがあり、続いて、『設立50周年記念寄付金の贈呈式』が行われ、当工業会から、神奈川県「動物保護センター建設基金」、神奈川新聞厚生文化事業団および社会福祉法人横浜市社会福祉協議会に対して、それぞれ寄付金が贈呈されました。

これに対して、県及び両団体から、当工業会に感謝状が贈られました。

また、司会者から「当工業会として、9月9日に設立50周年を記念し、アルピニスト野口健氏を講師に迎え、地球環境保全を基本テーマとした〈記念講演会〉をはまぎんホールで開催する」旨の紹介がありました。

この後、設立50周年記念祝賀会が開会され、司会者の紹介により、主催者を代表して有井会長が挨拶に立ち、本日ご出席の来賓各位に対するお礼の言葉が述べられた後、「私たち神奈川県空調衛生工

業会は、昭和42年の設立以来、設備工事業界の発展および、会員各社の経営の強化・技術の向上・適正な品質の確保等に努め、着実に発展を重ね、このたび50周年を迎えることができました。これもひとえに、ご来賓の皆様方をはじめ、各方面のご関係の方々のご指導とお力添えの賜物でございます。厚く御礼を申し上げます。」と述べられ、続けて「当工業会の発足当時は、まさに国内経済が高度成長期に移行し始めた時期であり、設備業界も日本経済の急激な成長と共に発展し、生活環境や産業活動の基盤整備において、その役割を果たすと共に、より高度な専門性の要求に応じてまいりました。」と述べられ、さらに「一方、今日におきましては、私たちを取り巻く地球環境は、温暖化の進行と異常気象、自然災害の多発、汚染物質による自然破壊など、様々な問題に直面しており、「パリ協定」の発効に代表されるように、世界的な持続可能な対策を講じていくことが不可欠となっております。私たちは、今日まで培ってきた技術力を今まで以上に活かし、今後とも社会資本の整備を通じて、社会貢献・地域貢献に積極的に取り組み、社会から信頼され、社会に貢献する企業集団を目指してまいります。さらに、労働環境の改善への取り組み、優秀な人材の確保と育成など、経営力・技術力のさらなる研鑽に努めると共に、設備工事業界の地位向上に向けた活動を展開し、堅実な足跡を残してまいりたいと考えております。当工業会の事業運営にあたりましては、今後とも、引き続き関係各位のご指導と、より一層のご支援を賜りますよう、お願いしたい」旨の挨拶がありました。

続いて、来賓を代表して、黒岩知事、林市長からそれぞれ祝辞をいただきました。

黒岩知事は「皆様は設立以来、快適な環境づくりに取り組まれてきた。県が進める未病改善には快適な環境づくりが重要。これからも県の強力なパートナーとして生活環境改善と地域の発展のために取り組んでいただくようお願いしたい」旨述べられました。

林市長は「人口急増期の横浜、神奈川の街づくりを支えていただいていた。これからはインフラの長寿命化やメンテナンスも皆さんの技術力が重要となる。引き続き横浜市のためにぜひともご尽力・ご協力をお願いしたい」旨述べられました。

次に、国会議員をはじめご来賓の方々をご紹介します、続いてご祝電披露の後、野村（一社）日空衛会長の乾杯のご発声で祝宴に移り、来賓、正会員、賛助会員の終始和やかな懇談が繰り広げられ、午後6時30分、小島和人副会長の閉会の挨拶をもって盛会裏のうちに祝宴はお開きとなりました。



川本 守彦 理事相談役（前会長）



黒岩 祐治 神奈川県知事



林 文子 横浜市長



寄付金の贈呈

設立 50 周年記念講演会

講演会



当会の設立50周年記念事業として、アルピニスト野口健氏を講師に招き、「地球環境保全啓発特別講演会」が平成29年9月9日(土)午後2時から、横浜市西区の「はまぎんホールヴィアマーレ」において開催されました。

記念講演会は、当会の環境宣言スローガン「神奈川発!! 地球にいいこと ひとつずつ」に向けたもので、講演に先立ち、設立50周年を記念して、環境スローガンを基本テーマとして、県内の工業系高等学校を対象に募集を行った「環境ポスター」入選者の表彰式を行いました。

この講演会には当会会員及び関係者、一般公募の方、当会関係機関の方を合わせて、約450名の方にご来場をいただきました。

開会にあたり、主催者を代表して有井清会長が挨拶に立ち、本日のご来場者各位に対するお礼と県内の工業系高等学校を対象に行った環境ポスターのコンテストに応募いただいた生徒の皆様、指導いただいた先生方に対するお礼の言葉が述べられた後、「世界では空気と水の汚染、そして地球温暖化が大変大きな問題となっている。2015年12月に第21回気候変動枠組条約国会議（C O P 21）で採択されたパリ協定は、16年11月に発効しており、これからは世界の環境問題に対してすべての人が協力し、努力する時代となった。」と述べられ、「当工業会の環境宣言スローガンにあるように業界団体として

できることから一つずつ実践し、皆さんから信頼され、社会に貢献する企業集団となるべく努めていく。この機に空調衛生工事業界に少しでも関心を寄せてもらえれば光栄である。本日は、野口健氏に「地球環境保全」に関するテーマで講演をいただくが、本日の講演会が皆様にとって有意義な時間となり、今後の生活や人生にお役立ていただくことができれば、主催者として誠に嬉しく思う。」との挨拶がありました。

続いて、環境ポスター入選者表彰式が行われ、最優秀賞に輝いた川崎市立川崎総合科学高等学校の小野千恵さんをはじめ、入選された皆様に、有井会長から表彰状、記念品が贈呈されました。

表彰式に続いて「地球環境保全特別講演会」に移り、はじめにDVDにより講演者のアルピニスト野口健氏のプロフィールを紹介の後、野口氏にご登壇いただき、エベレストをはじめ世界7大陸最高峰の登頂について体験談を交えながらお話しいただくとともに、同氏が長年にわたり取り組まれているエベレストや富士山をはじめ世界の山々での清掃活動に取り組んだ経緯を説明しながら地球環境保全の重要性を訴えられ、「環境問題の相手は自然でなく人間社会であり、自分の正義が社会の正義ではない、様々な考えがあることを理解しながら活動することが大事であり、まさに人の環」と結ばれ、ほぼ満員となった会場の皆様は野口氏の講演に熱心に耳を傾けていました。



来場者受付



有井会長



環境ポスター表彰式







環境ポスター表彰式

基本テーマ『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』



環境ポスター募集要領

1. 募集の背景・目的

神奈川県空調衛生工業会は、昭和42年（1967年）9月26日に設立し、今年で設立50周年を迎えます。この記念すべき年にあたり、当工業会の環境宣言スローガンであります「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」を基本とし、地球環境保全への関心を高めていただくことを目的に身近な環境問題をテーマとした「環境ポスター」を募集いたします。

2. 応募要領

- ・テーマ 「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」

上記のテーマに沿った地球環境保全が伝わる作品

特に私たちの生活の中にある様々な環境への意識・改善をうながすもの。

- ・応募資格

県内技術・工業系高等学校の生徒

区 分	学校名	氏 名
最優秀賞	川崎市立川崎総合科学高等学校	小野 千恵
優秀賞	神奈川県立磯子工業高等学校	佐久間 勇輔
優秀賞	横須賀市立横須賀総合高等学校	山本 由梨
優秀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	小田島 輝
優秀賞	川崎市立川崎総合科学高等学校	岡本 育
優秀賞	学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校	西田 愛海 奥永 真優
入 選	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	中村 柚貴
		小林 一帆
	神奈川県立小田原城北工業高等学校	佐藤 綾
		山口 美沙樹
	横須賀市立横須賀総合高等学校	飯田 歩美
		杉沢 優月
		佐藤 勇介
		金丸 菜々子
	神奈川県立藤沢工科高等学校	中屋 世南
		木村 明日香
		白井 まりあ
		黒澤 僚
		加藤 朝己
	学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校	工藤 竜也
		高田 舞衣
		後藤 崇文
		林 龍星
		小菅 貫太
		石渡 理沙
		鈴木 颯太



環境ポスター入賞・入選作品紹介



最優秀賞

川崎市立川崎総合科学高等学校 小野 千恵



 優秀賞

神奈川県立磯子工業高等学校 佐久間 勇輔



横須賀市立横須賀総合高等学校 山本 由梨



 優秀賞

神奈川県立神奈川工業高等学校 小田島 輝



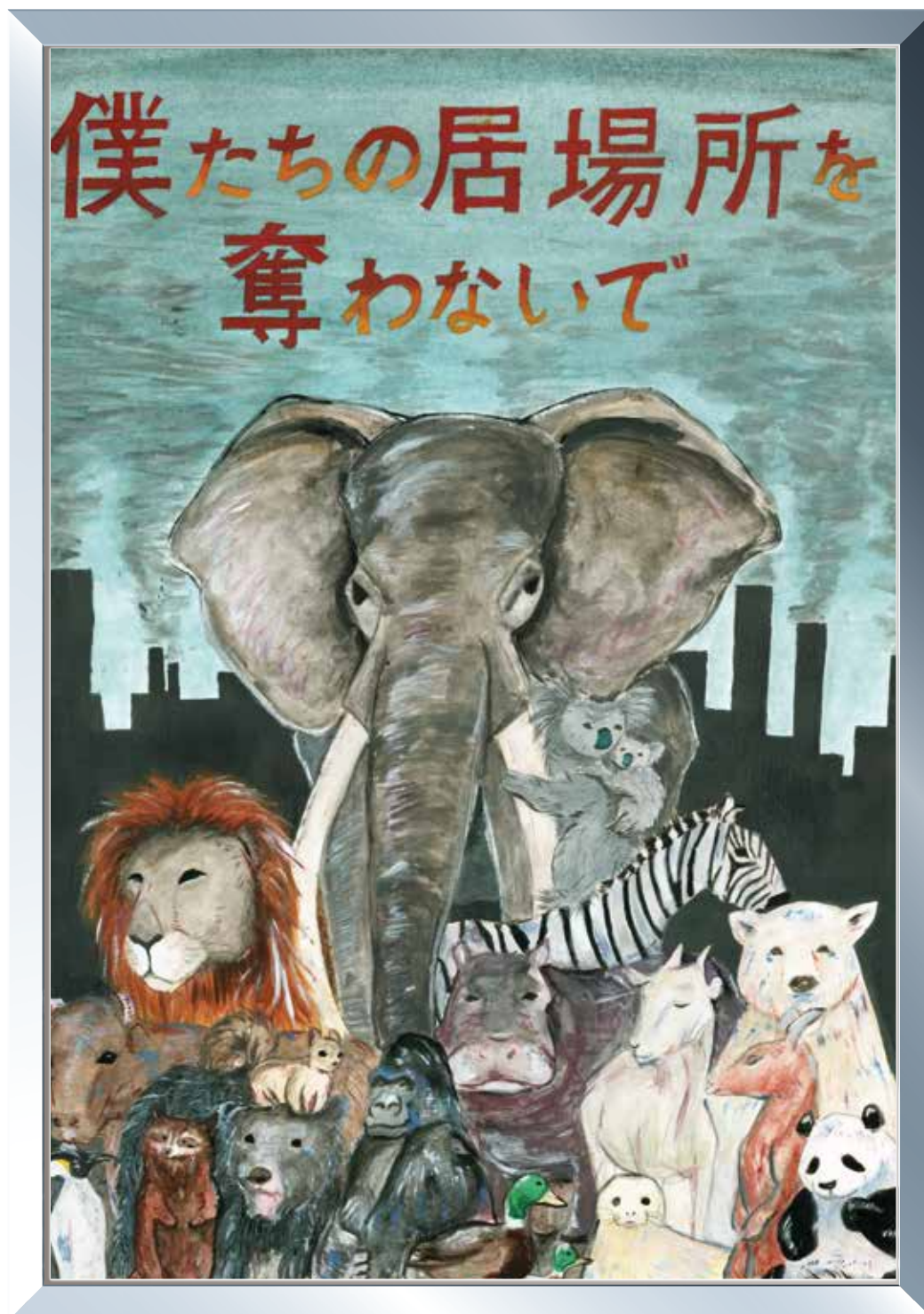
川崎市立川崎総合科学高等学校 岡本 育



優秀賞

学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校

西田 愛海・奥永 真優



 入選

神奈川県立神奈川総合産業高等学校

中村 柚貴



小林 一帆



神奈川県立小田原城北工業高等学校

佐藤 綾



山口 美沙樹



 入選

横須賀市立横須賀総合高等学校

飯田 歩美



杉沢 優月



佐藤 勇介



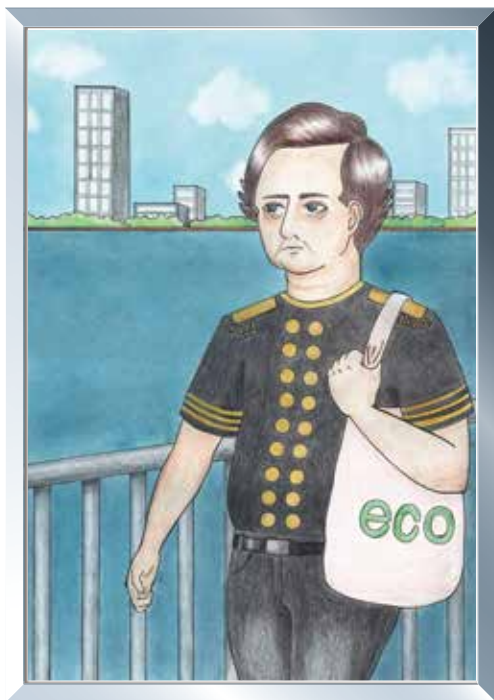
金丸 菜々子



 入選

神奈川県立藤沢工科高等学校

中屋 世南



木村 明日香



白井 まりあ



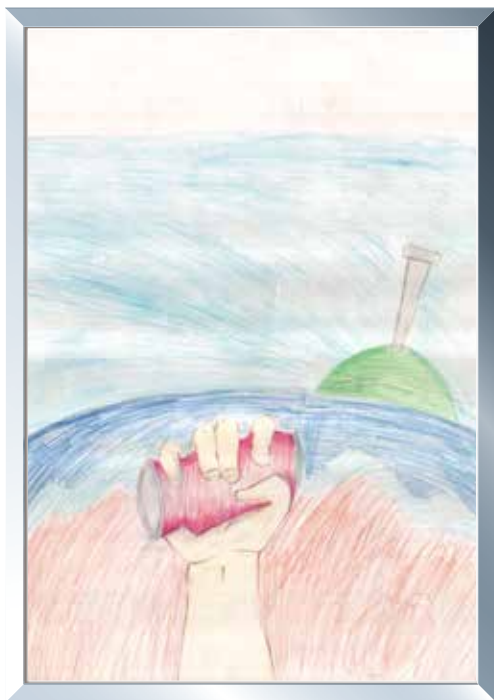
黒澤 僚



 入選

神奈川県立藤沢工科高等学校

加藤 朝己



学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校

工藤 竜也



高田 舞衣



後藤 崇文





入選

学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校

林 龍星



小菅 貫太



石渡 理沙



鈴木 颯太



会報第129号

(一社)日本空調衛生工事業協会 第24回全国会議を島根県で開催



平成29年10月12日(木)島根県松江市「ホテル一畑」において、(一社)日本空調衛生工事業協会第24回全国会議が開催され、全国から約300人の会員等が参加しました。

今回も、「空調衛生工事業の独自性の確立」を基本テーマとして開催されました。はじめに、(一社)日空衛 長谷川勉会長から開会の挨拶があり、会長は挨拶の中で、「現在大きくクローズアップされている課題は、建設業の働き方改革であり、政府では関係省庁連絡会議や協議会が設置され、

8月末には適正な工期設定のためのガイドラインが策定された。このような状況を踏まえ、『働き方改革の推進に関する日空衛行動計画(仮称)』を今年度内に取りまとめることとした。解決に向けてのハードルは決して低くはないが、だからこそ、出来るだけ早く行動を開始しなくてはならない。」として会員への協力を求められました。

続いて、来賓として出席された国土交通省 河野俊郎中国地方副整備局長は「改正品確法と合わせて、今回のガイドライン策定により、適正な工期設定の取り組みを一層推進していく。」と述べられました。

次に、基調講演が行われ、「設備工事におけるヒューマンエラーについて」では、ゼネコン出身の高木元也労働安全衛生総合研究リスク管理研究センター長が、実体験や複数のケーススタディを交え、事故防止策を提案されました。

ヒューマンエラーが労働災害の主因であることを強調され、エラーを招く12の要素として、無知や危険軽視、疲労、高年齢者の心身機能低下などを挙げ、安全対策と教育・訓練の2段階でエラー撲滅に臨むよう呼びかけられました。

一方、「担い手確保の講演」では、地元の松江工業高等専門学校環境・建設工学科の大屋誠教授が「魅力的な建設産業に向けて～担い手確保と新たな人材育成」と題して、従来の座学や実験・実習の積み上げ型学習だけでなく、学生の意欲向上や実践的な力を身に着けるための、情報化施工を取り入れた教育改革の試みを披露されました。

また、最後に日空衛人材委員会で作成した「技能者入職促進PRビデオ」が上映・紹介されました。当工業会からは、有井会長、築地副会長、川本理事相談役、安部専務理事が出席しました。



定例理事会議事報告(7月・9月・10月・11月)

7月定例理事会

平成29年7月14日(金)午後4時30分から第536回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 建設工芸専門部との懇談会等の開催について
安部専務理事から、神奈川県高等学校教科研究会建設工芸専門部との懇談会を8月22日(火)に開催したい旨の説明があり、了承されました。
2. 教員を対象とした現場研修会の開催について
専務理事から、神奈川県高等学校教科研究会建設工芸専門部から教員を対象とした現場研修会の開催依頼があった旨の説明があり、8月下旬に開催することで了承されました。

9月定例理事会

平成29年9月8日(金)午後2時から第537回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 日空衛「全国会議」について
安部専務理事から、10月12日(木)に島根県松江市「ホテル一畑」で開催される日空衛「全国会議」について説明があり、あらかじめ会長から、指名のあった、正副会長、理事相談役、専務理事の出席をお願いしたい旨の発言があり、了承されました。
2. 設立50周年記念講演会について
専務理事から設立50周年記念講演会の運営について説明があり、了承されました。

10月定例理事会

平成29年10月20日(金)午後2時から第538回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 中間決算について
小島副会長兼総務委員長から、安部専務理事に対して、中間決算について報告が求められました。
専務理事が資料により報告を行い、承認されました。

2. 行事日程について

(1) 日空衛関東支部連絡協議会について

専務理事から、11月22日(水)に長野市南石堂町「ホテルメトロポリタン長野」で開催される日空衛「関東支部連絡協議会」について説明があり、あらかじめ会長から、指名のあった正副会長、理事相談役、各委員長、専務理事の出席をお願いしたい旨の発言があり、了承されました。

(2) 12月定例理事会について

専務理事から、12月定例理事会について、12月8日(金)午後3時から「華正樓」本店で行いたい旨の説明があり、了承されました。

11月定例理事会

平成29年11月10日(金)午後2時から第539回定例理事会が開催されました。

その議事内容の要旨は次のとおりです。

1. 平成30年新年賀詞交換会実施計画(案)について
安部専務理事から、資料により、当工業会の平成30年新年賀詞交換会実施計画(案)について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認されました。

関東地方整備局による 平成29年度入札契約制度説明会

関東地方整備局による「平成29年度入札契約制度説明会」が平成29年7月21日(金)午後2時から神奈川県電業協会講堂において開催されました。

この説明会は、情報の共有化と円滑な事業運営の推進を図るため、毎年、当工業会と一般社団法人 神奈川県電業協会とで共同開催しているもので、今回は、当工業会から18名、電業協会から22名の合わせて40名が受講しました。

開催にあたっては、国土交通省 関東地方整備局 営繕部 三ツ木浩剛 官庁施設管理官並びに横浜営繕事務所 柴田 翼 所長をお招きし、「円滑な施工確保に向けた各種取り組みについて」、「競争参加資格申請書作成時の留意事項について」などについてご講義をいただきました。



平成29年度技術研修見学会 ～宮ヶ瀬ダム・愛川第1発電所～ 技術委員会



技術委員会主催の「平成29年度技術研修見学会」が平成29年10月25日(水)に神奈川県相模原市緑区青山地先から愛甲郡愛川町半原地先さらには愛甲郡清川村宮が瀬地先にわたり広がる、宮ヶ瀬ダム及びダムに併設された愛川第1発電所において実施されました。

宮ヶ瀬ダムは、国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所が所管するダムで、洪水調節、水道用水の確保、農業用水の補給・中津川における河川生態系の保全、水力発電など複合用途の重力式コンクリートダムとして、昭和44年9月にダム計画を発表し、平成13年3月に完成、同年4月から本格運用開始しています。下流には宮ヶ瀬ダムの放流調整用とした石小屋ダムもあり、観光放流を行うなど現在は複数のメディアで取り上げられ「行ってみたいダムランキング」で1位になり、ダムマニアをはじめ本年は過去最高の観光客が押し寄せる人気スポットとしても有名で、本来の治水・利水目的のほか観光資源も考えた近代ダムの先駆けだそうです。

計画当初より、観光目的も視野に入れた設計となっていて、観光客が利用している堤の頂部と下部を結ぶインクラインと呼ばれる昇降設備は、工事中ではコンクリートなど建設資材を積んだ20トンダンプがこの設備により上下していたとのことです。

愛川第1発電所は、宮ヶ瀬ダム右岸直下に建設された神奈川県企業庁相模川発電管理事務所が所管する水力発電所で、宮ヶ瀬ダムと内径3.0mの水圧鉄管で接続され、宮ヶ瀬ダムの落差により生じる水のエネルギーを利用し、最大出力24,200KWを電力需要の多い時間帯に発電をしています。宮ヶ瀬ダムの放流水は、一旦下流に設置されている石小屋ダムで貯められ、河川維持用水など必要な水量を調節し、下流の中津川へ安定した放流を行っており、ここに愛川第2発電所があり、その放流水を利用して24時間連続運転による発電を行い、神奈川県民の電力需要に対応しているとのこと。

ここで、ダムの規模を想像していただくために諸元を紹介します。

- ・ダム形式：重力式コンクリートダム（水圧をコンクリートの重さで押さえています）
- ・ダム堤体積：200万 m^3 （全国1位）
- ・堤高：156m（全国6位 1位は186mの黒部ダム）
- ・堤頂長：375m
- ・総貯水容量：1億9,300万 m^3 （全国21位 1位は6億6,000万 m^3 の徳山ダム）
- ・人気：H28年6月日経プラスワン紙上のダムランキング全国1位

今回の参加者は正会員14名（12社）、賛助会員1名（1社）計15名でした。

見学では、ダム管理事務所中央監視室において横坂所長様より手作りの資料で興味深いご説明をいただき、その後、服部専門官様のご案内で、迫力ある観光放流や普段見ることのできないダム堤内を縦横にはしる管理通路を通り、放水用の巨大なバルブなど管理設備を十分に見学しました。

縦横の管理通路は、以前TVで見たピラミッドの内部さながらであったように感じました。

続いて、県企業庁相模川発電管理事務所の伊藤課長様・矢田課長様の案内で2班に別れ発電所施設を見学し、発電用の水車の模型などを利用してわかりやすく説明していただきました。

発電所は常時無人であり、遠隔監視制御であるとのこと、両課長様にはこの見学会のために来ていただき、大変貴重な説明を聞くことができました。

今回の研修会では、普段の業務では体験できない規模の建造物を見ることにより、我々の業務における考え方の多様性を後押しできたのでは、と思います。

ご説明いただきました方々への謝意を表し散会となりました。



宮ヶ瀬ダム放流

横浜市建築局主催による震災時即時出動訓練行われる 安全委員会



横浜市庁舎における訓練

平成29年9月27日(水)に「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づき、災害時の迅速な防災拠点の確保に向けた即時出動訓練が、横浜市と出動協定をしている建設5団体の横浜建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、横浜市電設協会、神奈川県電業協会、当神奈川県空調衛生工業会の即時出動者会員、バックアップ会員の延べ244社・261名が出動し、特に震災時の重要な拠点となり、中心的な役割を果たす市庁舎をはじめ区庁舎、消防署、病院等で実施されました。

横浜市指定の51施設（38班）のうち、今回は49施設（36班）が訓練の対象となり、当工業会からは即時出動会員41名（20社）とバックアップ会員45名（34社）の合計86名（54社）〔※一部、即時、バックアップの重複あり〕が訓練に参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障、漏水などを想定した被害状況が報告され、各所で安全点検、安全措置などの訓練を実施しました。

訓練は、各出動者の協力のもと滞りなく終了しました。本番さながらの訓練は、今後想定される大震災時に生かされるものと思います。

今回の「横浜市震災時即時出動訓練」に参加し、ご協力をいただいた会員会社

◎即時出動会員（20社）

(株)朝日工業社、エルゴテック(株)、(株)金子工業所、川本工業(株)、共栄産業(株)、(株)京浜設備工業所、興信工業(株)、(株)光電社、興和工業(株)、相模設備工業(株)、三機工業(株)、新菱冷熱工業(株)、大成温調(株)、ダイダン(株)、高砂熱学工業(株)、東洋熱工業(株)、(株)西原衛生工業所、日宝工業(株)、三沢電機(株)、(株)ヤマト

◎バックアップ会員（34社）

(株)朝日工業社、(株)アクトエンジニアリング、アトム冷熱工業(株)、カナレイ(株)、(株)小松工業、(株)清田工業、(株)康栄社、興和工業(株)、三建設備工業(株)、(株)三冷社、神中工業(株)、新日本空調(株)、須賀工業(株)、清進電設(株)、第一工業(株)、第一設備工業(株)、太建工業(株)、大成温調(株)、大成設備(株)、ダイダン(株)、(株)司工事、(株)テクノ菱和、東洋熱工業(株)、南海工業(株)、(株)ニッセツ、万里設備(株)、日比谷総合設備(株)、(株)ヘルツ、豊正工業(株)、三沢電機(株)、南設備工業(株)、(株)ヨコレイ、菱和設備(株)、(株)渡辺管工業

神奈川県県土整備局主催による震災訓練行われる 安全委員会

平成29年11月10日(金)に「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づき、大規模地震発生時の迅速な拠点施設の確保に向けた自動出動及び要請出動訓練が、神奈川県と出動協定をしている建設7団体の神奈川県建設業協会、神奈川県電業協会、神奈川県空調衛生工業会、横浜建設業協会、川崎建設業協会、川崎市空調衛生工業会及び神奈川県中小建設業協会から会員合計24名(24社)が参加し、横須賀合同庁舎、小田原合同庁舎、港南警察署、川崎臨港警察署、厚木警察署及び瀬谷警察署の6箇所で開催されました。

当工業会からは、出動会員4名(4社)が訓練に参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障などを想定した被害状況が報告され、安全点検、安全措置などの訓練を実施しました。

今回の神奈川県震災訓練に参加し、
ご協力をいただいた会員会社

エルゴテック株式会社、株式会社神成工業、
神中工業株式会社、文化興業株式会社



横須賀合同庁舎における訓練

高等学校教科研究会「建設工芸専門部」との懇談会開催

産・学間における情報交換の一環として神奈川県高等学校教科研究会「建設工芸専門部」との懇談会を平成29年8月22日(火)に開催しました。

この懇談会は、今後の学習指導、各種活動に役立てていきたいという趣旨で工業教育、特に建設系・デザイン各課程に関する研究、向上を図ることを主な目的として設置されている「建設工芸専門部」からの依頼により、平成26年度から開催しているものです。

開催にあたりましては、当工業会会議室におきまして、学校側からは、笹原哲也建設工芸専門部長(藤沢工科高等学校校長)をはじめ13名の教員[県内技術系高等学校の建設系・デザイン各学科の教職員(県立5校:藤沢工科、向の岡工業、磯子工業、神奈川工業、小田原城北工業 市立1校:川崎総合科学)]、当工業会からは石田創理事(企画政策委員長)、小澤信理事(技術副委員長)と毎年インターンシップで高等学校から現場実習生を受け入れていただいている会員企業7社(朝日工業社、エルゴテック、川本工業、光電社、新菱冷熱工業、高砂熱学工業、三沢電機)7名に出席をいただきました。

懇談会におきまして、学校側からは、工業高校の現状と今後の課題、今後の工業教育のあり方について、生徒の進路・就職状況等について説明がなされ、工業会からは、若年、女性労働者の安定的確保を図るため、時間外労働の縮減、週休二日制の実現等により長時間労働の解消に向けて、今年の3月に政府において決定された「働き方改革」について情報提供を行いました。

技術系若手教員対象の現場研修見学会の実施

空調衛生工事業への理解の増進を図る一環として、技術系高等学校若手教員を対象とした現場研修見学会を平成29年8月25日(金)に実施いたしました。

この現場研修見学会は、技術系高等学校若手教員に、実際に現場を肌で感じ、知識や理解を深めてもらい、生徒に夢や魅力を語ってほしいとの思いから「建設工芸専門部」より当工業会へ依頼があり、今回は平成28年度に続き2回目の実施となりました。



実施にあたりましては、同専門部の笹原部長をはじめ技術系教員20名を対象に、当工業会会員の㈱朝日工業社のご協力をいただき、同社が施工されている「藤沢市新庁舎建設工事」における施工現場を見学させていただきました。

見学にあたりましては、建設工事現場の2階会議室において建設工事責任者による施設・現場概要及び施工における特性等について説明を受けた後、屋上階の電気室から議場等（9階）、展望ロビー（5階）、居室（2階）などの各階の特徴及び作業状況をそれぞれ見学させていただき、地下1階の機械室、熱源機械室等、さらには免震階の案内、説明をいただきました。

その後、2階会議室に戻り、総評、質疑応答が行われ、先生方からは津波対策、作業員の健康管理（熱中症対策他）、ITを駆使した効率化（施工確認、進捗管理並びに情報の共有化）等について質問がありました。

当研修見学会は、設備工事業界と教育機関との産学連携による人材育成の一環として実施しているもので、今後も継続していきたいと考えております。



横浜市優良工事表彰式

横浜市の平成29年度優良工事表彰式が、平成29年11月2日(木)ワークピア横浜において開催されました。

この表彰式は、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した施工会社及び現場責任者の方々に對して、その業績を顕彰するために毎年行うものであり、施工会社表彰は今回で38回目、現場責任者表彰は11回目となります。

本年度の優良工事施工会社表彰には、設備部門が14社、建築部門4社、土木・造園部門が32社の合計50社が、また、現場責任者表彰には、設備部門が15名、建築部門が4名、土木・造園部門が47名の合計66名が選ばれ、それぞれ各部門の代表者に横浜市長から、表彰状が手渡されました。

当工業会会員からは、優良工事施工会社表彰で次の3社が、また、優良工事現場責任者表彰で次の3名の方が表彰されました。心からお慶び申し上げます。

優良工事施工会社表彰〔設備部門〕

エルゴテック株式会社	代表者	落合	康利
川本工業株式会社	代表者	川本	守彦
株式会社ヨコレイ	代表者	有井	清

優良工事現場責任者表彰〔設備部門〕

安慶名	勝男（株式会社ヨコレイ）
角田	英一（興信工業株式会社）
神崎	純也（エルゴテック株式会社）

横浜市 中区制90周年・開港記念会館100周年記念における 当工業会への感謝状の贈呈



平成29年10月1日(日)に中区制90周年・開港記念会館100周年記念式典が開港記念会館で開催され、平山正晴実行委員長から当工業会に感謝状が贈呈されました。

親 睦 会 報 告

◎平成29年度前期麻雀大会

渉外委員会主催の麻雀大会が、平成29年7月28日(金)に麻雀クラブ「ロン」において16名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優 勝 堅 山 正 博〔相模設備工業(株)〕
準 優 勝 後 藤 守 利〔カナレイ(株)〕



優 勝 堅 山 正 博 氏
〔相模設備工業(株)〕

◎平成29年度前期ボウリング大会

渉外委員会主催のボウリング大会が、平成29年9月22日(金)にHamabowlにおいて23名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 平 野 義 隆〔文化興業(株)〕
準 優 勝 島 村 聡〔(株)光電社〕



優 勝 平 野 義 隆 氏
〔文化興業(株)〕



ボウリング大会参加者の皆様

◎平成29年度前期釣大会

渉外委員会主催の釣大会が、平成29年9月29日(金)に金沢漁港「三春丸」において11名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 ア ル ガ〔明 和 工 業(株)〕
準 優 勝 福 山 和 弘〔川 本 工 業(株)〕



優 勝 アルガ氏
〔明和工業(株)〕



釣大会参加者の皆様

◎平成29年度後期ゴルフ大会

渉外委員会主催のゴルフ大会が、平成29年10月17日(火)に横浜カントリークラブにおいて32名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 丸 岡 剛〔第 一 工 業(株)〕
準 優 勝 池 野 直 規〔ダイダン(株)〕
ベストグロス賞 後 藤 守 利〔カナレイ(株)〕



優 勝 丸岡 剛氏
〔第一工業(株)〕



「ゴルフ大会」参加者の皆様

会員消息

会員消息につきましては、11月発行の「会員名簿」をご参照ください。

編集後記

朝夕の冷え込みが一段と厳しくなり、秋から冬への訪れを感じる季節になりました。早いもので今年も残すところあと1ヶ月になり、1年を振り返る時期になったかと思うと時の早さに驚くばかりです。

今年の神奈川県内スポーツ界では、横浜DeNAベイスターズがクライマックスシリーズを突破し、日本シリーズではあと少しのところまでソフトバンクを追い詰めました。陸上では出雲駅伝で東海大が、全日本駅伝で神奈川大が優勝し、サッカーではJ2湘南が優勝し、今年後半になって神奈川県勢の活躍が目立っています。

その中でわが国経済は緩やかに回復しているものの個人消費は回復が一服している状況です。先ほどの衆議院総選挙で与党が勝利し安定した政権を維持することを国民が選択したので、さらなる景気回復に向けていただきたいと思います。我々もこのような状況の中、皆で一致団結し業界全体を盛り上げていければと思います。

最後に（一社）神奈川県空調衛生工業会は設立50周年を迎えました。今後も「信頼され、社会に貢献する企業集団」を目指し活動していければと思います。またこれから寒くなり体調を崩しやすい季節になりますが、会員の皆様方に置かれましては健康に留意しご活躍されることをお祈りいたします。

(K.F)



水と空気と環境を
クリエイトする企業



kanzai

日本管找センター株式会社

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材、国内外総合商社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-24-3 PMO ビル
TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

信頼と実績を礎に
快適な住環境作りに貢献しています



大正8年創業

住宅設備機器と管工機材総合卸商社

株式会社 横 滝

根岸営業本部 〒231-0836 横浜市中区根岸町1-13
電 話 (045) 623-1991 FAX (045) 621-5249
元町事業部 〒231-0861 横浜市中区元町5-216
電 話 (045) 680-0218 FAX (045) 651-1892

業界初 **スマホで楽々点検!**

スマホをタッチするだけで、
給水ユニットの運転状態が、
簡単に確認できる!

デザイン一新!!

フレッシャー-LINK
搭載

モデル フレッシャー 3100
チェンジ! 直結給水ブースタポンプ



F3100型



PNAGM型

専用アプリ

フレッシャー-LINK

Google Play
で手に入れよう

Google Playから
アプリをインストール



スマホを
タッチするだけ!



株式会社 荏原製作所

神奈川支店 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-9-1
☎ (045) 472-0611

<http://www.ebara.co.jp/>

※「○○○型」の表示は当社の機種記号です。

高効率を追求するテラル
テラルの新コンセプト「Triple e」による
直結増圧給水ユニット

TERAL
Triple e

MC5型

機種選定・水理計算書の
ご用命は、弊社横浜営業所まで
お気軽にご相談ください。



省電力 30% 削減!
(当社比)

年間消費
電力量比較

10,340 kWh
7,171 kWh
30% Down

現行型MC4 新型MC5
【計算条件】 給戸数111戸、地上13階建タンク容量50A、ポンプ出力7.5kW

軽量 32% ダウン
最大 60kg 低減
新 型 MC5-5050-2.2AD 125kg
従 来 型 MC4-5050-2.2D 185kg

低振動

防振ゴムにより
ポンプ振動を絶縁



静音 5dB ダウン
騒音が最大

テラル株式会社 〒221-0031 横浜市中区日吉東横ビル17F TEL 045-450-5361 FAX 045-450-5362



植物油インキを
使用し、環境に
配慮しています

設立50周年記念特集号
会報 第129号

平成29年11月30日

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L: <http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail: info@shinkuei.or.jp

情報委員会

印刷 株式会社 ワールドフジ